

芸術振

特定非営利活動法人 大分県芸術文化振興会議
通巻第135号 2013（平成25）年9月17日発行

文化キャラバン 59会場で実施

本年は国からの補助金を得て、希望するすべての会場で実施が可能となりました。

↓能を楽しむ会・大分市立城南中学校



↑大分二期会・大分市立春日町小学校



↑大分県三曲協会・別府市立南立石小学校

ホルトホール大分が開館



開館記念に大分県民謡研究会 萬謡會とわらび座の合同公演が行われました。（7月25日）

通常総会

報告

芸振の平成25年度総会を、6月18日大分オアシスタワーホテルにおいて開催しました。

正会員数286名（団体163・個人123）に対して出席者数156名（実出席80・書面出席76）で成立しました。総会ではまず、大分県美術協会書道部会長の西村桃霞氏を議長に、県俳句連盟の松原幹夫氏と県美協写真部会の安東道明氏を議事録書名人として選出しました。

はじめに第1号議案「平成24年度事業報告」と第2号議案「平成24年度決算報告及び監査報告」が一括審議され、日名子事務局長から説明を行いました。

芸振の独自事業として、東日本大震災復興支援の意義も含めて取り組んだ「星野富弘 花の詩画展」は、5月17日から29日までトキハ本店催し場で開催され、10,897人の入場者を集めました。

文化キャラバン（主として小学校を会場とした音楽演奏）は38会場で実施し、9千人を超える児童らに鑑賞してもらいました。中高生を対象とした青少年舞台芸術鑑賞事業には、983名を招待しました。演奏者等紹介事業・海外派遣研修事業（1名）を行いました。

団体会員の事業への補助金は、43団体に198万円を交付しました。また、例年通り文化年鑑や機関誌の発行、ホームページの更新などを行いました。

平成24年度の支出は、事業費・管理費合わせて3千5百万円余りで、来年度への繰り越しは1,453,551円となりました。佐藤教明代表監事から、6月10日に行った監査の結果「会計諸表は団体の財産状況を正しく示して」おり、「理事の職務執行に指摘すべき事項はない」と報告されました。

第3号議案として、従来の「理事長がこの法人を代表し」から「理事全員は、この法人を代表する」へ変更する内容を含む定款変更が提案されました。

第4号議案「平成25年度事業計画」、第5号議案「平成25年度予算案」も一括して提案・審議されました。文化キャラバンや芸振補助金の交付は例年通り実施の予定ですが、芸振独自の文化事業は未定です。外部からの受託事業がないために、予算案は収入・支出ともに前年度より大幅な減額となりました。



支援金を被災地に寄付

芸振は加盟団体に呼びかけ、東日本大震災の復興支援のための募金を続けてきました。また、上記報告にあるように平成24年5月には「星野富弘 花の詩画展」に多くの入場者を集め収益を得ました。

寄せられた浄財と詩画展の収益を合わせて、公益財団法人企業メセナ協議会が運営する「芸術・文化による復興支援ファンド」に100万円を寄付しました。同時に、昨夏の集中豪雨で大きな被害を受けた竹田市文化会館の再建のために、100万円を寄付することができました。

県芸術文化祭実行委員会は今年度までの3年間、震災の復興支援に取り組むことを決めており、芸振事務局でも引き続き支援金を受け付けます。

第6号議案として、平成26年度に迎える芸振創立50周年の記念事業について、「芸振50年史」の出版をメインとして、記念式典、祝賀会、第50回記念県美展への協力を行うことが提案されました。

第7号議案は、NPO法人設立時から役員は無報酬ですが、25年度も同様とするものです。以上の七つの議案は、いずれも賛成多数により原案通り可決されました。

最後に議場から、「芸振には素晴らしい先生方が揃っているのに（知事表彰など）受賞されるのが遅い。もっと若い年齢で受賞できるように働きかけてはどうか。芸振も活気づく」という提案があり、理事長は「関係機関に働きかけたい」と応えました。

文化を語る夕べ ジュニアオーケストラが演奏



「平成24年度 文化を語る夕べ」を、2012年12月12日大分オアシスタワーホテルにおいて開催しました。オープニングコンサートには、iichikoグランシアタ・ジュニアオーケストラの皆さんと音楽監督の川瀬麻由美さんに出演していただきました。

恒例の「芸振講話」は、芸振理事でもある大分県吹奏楽連盟の工藤紘喜氏に海外公演のお話などをうかがいました。

ホルトホール開館 加盟団体が記念公演

7月20日、大分市の駅南地区に新しい文化施設「ホルトホール大分」が開館しました。大分駅周辺では鉄道の高架化と周辺地域の再開発が進められていますが、同ホールは「複合文化交流施設」として大分市が建設を計画していたものです。

開館記念行事として1,200人収容の大ホールでは、7月25日に芸振加盟の大分県民謡研究会 萬謡會と秋田県仙北市に拠点を置く劇団わらび座の合同公演が行われました。また、地元の演劇関係者が設置を要望していた小劇場が200人収容の多目的小ホールという形で実現し、8月11日には演劇「もったいないばあ」と豊の花」、22日には朗読劇「蟬なきやまず」が開館記念演劇として上演されました。いずれも芸振加盟の「おおいた演劇の会」によるものです。

館内には大小のホールのほか、図書館、会議室、ケーブルテレビのスタジオ、レストランなど様々な施設が含まれており、開館から1か月で24万人を超える利用者があったということです。



九州・沖縄文化団体連絡会議 日田で開催

九州沖縄各県の代表的な芸術文化団体が課題を協議する会議（事務局：福岡県文化団体連合会）が、7月11・12の両日、日田市内で開かれました。毎夏各県の持ち回りで開催しており、一昨年は沖縄県石垣市、昨年は長崎市が会場となりました。

今年の当番県となった大分では、2日目に小鹿田焼窯元や咸宜園の見学も行い、参加者の好評を得ることができました。



物 故 者

・首藤 悦爾（前監事）

H25.7.26 85歳

ご冥福をお祈りいたします。

新 入 会 員 紹 介

（団体会員）

入会日	団 体 名	部門	代表者	事務局長	事務局所在地
24.10.29	大分チェンバーオーケストラ	音楽	山口 智之	藤部 聡	870-1136 大分市光吉台34-528 （山口智之方）
25.01.21	アトリエ弾	音楽	山口 智之	三箭 真久	870-1136 大分市光吉台34-528 （山口智之方）
25.04.01	日本フィル大分公演実行委員会	音楽	内田 博	村津 孝仁	870-8620 大分市今津留3丁目1 番1号 株式会社大分放送内
25.04.01	大分市民芸能祭協議会	音楽	末松秀一郎	末松秀一郎	870-0008 大分市王子西町6番22 号 大分団地新聞社事務所内

（個人会員）

・花柳津太次 ・須賀 克文 ・是永 幹夫 ・後藤 龍二 ・松井 猛

退 会

（団体会員） ・豊後たんぽぽの会（総合）

・若葉バレエスタジオ（舞踊）

・大分市民吹奏楽団（音楽）

・糸の会（音楽）

（個人会員） ・本多 照茂 ・日野 直子 ・林 フミヨ

・利光 克寛 ・花柳鶴多恵 ・進藤すぎの

・伊坂 香里 ・瀬井 真之 ・花柳昌吉郎

芸術文化祭 日程変更

プログラム10頁

第50回カサ・デ・ギターラ

ギター演奏会

開演時間が18時から14時に変更になりました。

文化年鑑 原稿差し替え

2012年版53頁下段

本紙に添付したものに差し替えて下さるようお願いします。

お 知 ら せ

芸振事務局は移転しました

2006年4月から大分市・竹町商店街のイワオ文具別館に事務局を開設してきましたが、iichiko総合文化センター地下一階に移転し、4月26日から業務を開始しました。電話・ファックスの番号に変更はありません。日曜・祝日を定休日としていますが、iichiko総合文化センターの休館日（原則として第2・4月曜日）にも窓口対応を休ませていただきます。芸振ホームページでご確認ください。

事務局の新しいスタッフとして山平知代さんが加わりました。よろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人 大分県芸術文化振興会議

〒870-0029 大分市高砂町2-33 iichiko総合文化センターB1F

TEL：097-536-0522 FAX：097-536-6188 E-mail：info@geishin.jp URL：http://www.geishin.jp/